

くらしナビ

—ライフスタイル—

そこが聞きたい

令和の神社のあり方

神社本庁総長 田中 恆清氏

全国の神社を束ねる宗教法人「神社本庁」(東京都渋谷区)は2024年12月、最高権威の「総理」が事務方トップの「総長」を指名し、正式な総長が不在という事態が2年半ぶりに解消された。事態の発端ともなった2件の訴訟(●)を経て、神社本庁はどうなったのか。そして「令和」の神社はどうあるべきか。田中恆清総長に聞いた。

【聞き手・穴口護、撮影・三浦研吾】

—神社本庁の総長人事をめぐる、総理の鷹司尚武氏が22年5月に北海道の宮司を次期総長にしたいと指名しましたが、役員会は6月に田中氏の統投を多数決で決め、宮司が総長の地位にあることの確認を求めて提訴しました。24年10月、宮司を総長と認めない判断が最高裁で確定しました。

◆総長の選任に関する規定をどう解釈するかが争点となり、役員会が実質的に総長を決定し、決定に基づいて総理が総長を指名するという判断が確定しました。本庁が長年踏襲してきた手続きが、お墨付きを得たと言えます。12月に総理が私を指名したことで正式に総長の統投が決定し、本庁の組織がようやく正常化されたとの思いです。

—総理と総長はどついつう関係なのでしょうが。
◆今回の判決により、「統



たなか・つねきよ 1944年生まれ。国学院大神道学専攻科修了。2001年から京都府八幡市の石清水八幡宮宮司。神社本庁副総長を経て10年に総長。世界連邦日本宗教委員会会長。全国八幡宮連合総本部長。京都府神社庁長。

変化が歴史をつくる

理」は本庁の代表で宗教団体の権威の象徴、「総長」は俗世としての宗教法人の代表者という位置づけであることが、あらためて明確になりました。そのような権威の象徴を利用しようとする動きにより争いとなりましたが、本来我々は総理という権威が傷付かないように守らなければなりません。

—今回の総長問題の以前には別の訴訟もありました。本庁が幹部職員2人に対して行った懲戒処分が無効と判断された件についてはどのように捉えていますか。
◆私が長くやり過ぎたから新しい総長を選びたいと考える人がいて、一連の争いにつながった面があるかもしれない。ただし、懲戒処分を含め、私の考え一つで何事も決定するわけではないのです。組織の中で一つずつ議論して、庁内のさまざまな規則に

沿って決めています。今後、どう組織運営に当たりますか。
◆神社神道は八百万の神々の世界ですから、海や山、風、衣食住を司るなどたくさんさんの神々がいて、それぞれを崇拝する人が出てきたのが信仰の始まりです。全国の神社は個別の信仰や歴史、文化

神社本庁—東京都渋谷区で



2件の訴訟

職員宿舍の売却をめぐる幹部職員2人が「内部告発を理由に懲戒処分を受けた」として、2017年に神社本庁を相手に処分無効を求めて提訴。1、2審は処分を無効とし、最高裁で22年4月に確定した。その翌月、総理が北海道の宮司を次期総長にしたいと指名。宮司は同年8月に総長の地位にあることの確認を求めて提訴したが、最高裁は24年10月、宮司の上告を退け、宮司を総長と認めなかった1、2審判決が確定した。

文化の説明を丁寧にする必要

—過疎地の神社は縮小したり存続の危機にあたりする一方、観光地では参拝客でにぎわっていますね。
◆地域の神社を支えてくれる氏子が減り、神社の敷地を処分したいという相談も増えています。神社が別の場所に移動してしまうことは、氏子にとっては一大事なので、慎重に検討します。一方でインバウンドの増加に伴い、新たなにぎわいも生まれています。参拝の作法をはじめ、ご祭神についての広報などさまざまな活動もしています。

—「令和」の神社はどうあるべきかと考えますか。
◆神社は常に古くて新しいところだと思っています。狂言であれ能であれ、ほとんどの文化の発祥に関わりながら、初詣では外国人や若者が行列をなして参拝している。昔の神社は地域に言い伝えがあり、神職も「見たら分かる」ということで、言葉では説明してきませんでした。神道の「言挙げしない」という考え方は、しかし、今はSNS(ネット交流サービス)を見て初めて参拝する人も多く、神社の歴史や伝統、文化を時代に合わせて丁寧に説明していく必要があります。古いものを守るだけでなく、伝承では

—そもそも神社とはどういう場所なのでしょうが。
◆あなたが来られても、心が安らぐ場所だと思います。訪日外国人観光客(インバウンド)が近年は多いですが、宗教や考え方が違っていても問題は無い。誰がいつ来ても良い場所なのです。

—キャッシュレス時代のさい銭の形を検討していると聞きました。
◆神社へのお供え物は昔、「初穂米」といって新米でした。それが「初穂料」といって現金に変わりました。今は、さい銭箱脇の機械にタッチしたら「チャリン」と音が鳴って電子マネーで寄付される仕組みもありますが、問題があるのではないかと意見もあり、有識者と議論しています。

◆意見をお寄せください。
TEL 00-8051 毎日新聞「オレオレ」係。